

【 臨床研究に関する情報の公開 】

関電ダイアベティス・フェスタに参加された患者さまの試料・情報を用いた
医学系研究に対するご協力のお願いについて

項 目	内 容
1. 研究課題名	S N Sを活用したダイアベティス啓発活動の効果（後ろ向き調査）
2. 研究の対象者	2 0 2 4 年 1 1 月 9 日に実施した第 1 0 回関電ダイアベティス・フェスタに参加し、参加者アンケートにご協力頂いた方
3. 研究期間	倫理委員会承認後～ 2 0 2 6 年 3 月 3 1 日
4. 研究実施体制と研究責任者	研究実施場所：関西電力病院 栄養管理室 研究責任者：栄養管理室 茂山翔太 共同研究者：関西電力病院 栄養管理室 高橋拓也、國枝加誉、森口由香、高橋正弥、高原舞衣、右谷怜奈、小川晴久、鴻上寛太、倉員舞歩、真壁昇 関西電力病院 糖尿病・内分泌代謝センター 浜本芳之、表孝徳、桑田仁司、山崎裕自、臼井亮太、桜町唯、山口裕子、井村将大、松城真理、瀬川ひとみ、古結麗奈、中谷晃人 共同研究機関：なし 資料・情報提供機関：関西電力病院 栄養管理室、糖尿病・内分泌代謝センター
5. 本研究の意義・目的	近年、糖尿病の社会的偏見による差別（スティグマ）を撲滅するための活動として糖尿病の病名を「ダイアベティス」に変更する動きが進みつつあります。当院ではダイアベティスの啓発活動として毎年 1 1 月に「関電ダイアベティス・フェスタ」を開催していますが、参加者の年代層が高く中高年層の参加が少ないことが課題であったため、2 0 2 4 年度は S N S を用いたイベント啓発活動を実施しました。本研究は、S N S を利用したイベント周知の効果を 2 0 2 4 年度のイベントで実施したアンケート調査により後方視的に検証し、今後のダイアベティスの啓発普及活動に活用することを目的としています。
6. 研究の方法	2 0 2 4 年 1 1 月 9 日に当院で実施した第 1 0 回関電ダイアベティス・フェスタに参加し、参加者アンケートにご協力頂いた方を対象とします。参加者アンケートの結果から、参加者の年代層、性別、Wolrd Diabetes Dayの認知度、イベントを知ったきっかけなどを後方視的に調査し、参加者の年代層やダイアベティスに関する認知度の変化を検証します。
7. 研究に用いる試料・情報の種類	第 1 0 回関電ダイアベティス・フェスタで実施した参加者アンケート調査結果（記入済みアンケート調査用紙）より、年齢や性別、ダイアベティスの認知度を調査します。
8. 試料・情報の保管方法と廃棄方法	各種データの抽出は、外部との接続を遮断されパスワードで管理された電子カルテ端末を用います。抽出後のデータは個人特例されないよう匿名化を行った上で、パスワードロック機能を有する外部PCへ移行し解析を行います。本研究で抽出・解析した全てのデータは、研究公表・論文発表・研究中止決定のいずれかの最も遅い日から 5 年間保管し、保管期間終了後は速やかに全てのデータを消去し、完全に消去したことを複数名にて確認します。
9. 個人情報の保護について	情報収集には、診療 I D や患者識別コード等を用いることで匿名化されています。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者へ知られたりすることはありません。研究にご自身の臨床データや試料を提供したくない場合は、1 1. 問い合わせ・苦情等の窓口へお申し出ください。お申し出いただいても、診療等に不利益が生じることはありません。
10. 情報管理責任者	関西電力病院 栄養管理室 室長 真壁 昇
11. 問い合わせ・苦情等の窓口	〒5 5 3 - 0 0 0 3 大阪市福島区福島 2 丁目 1 番 7 号 関西電力病院 栄養管理室 茂山翔太 電話：0 6 - 6 4 5 8 - 5 8 2 1（代表）